

2020年11月8日児童祝福礼拝

ゴリヤテを倒したダビデ

(1サムエル17・15-11)

きょうは児童祝福礼拝です。お話の対象は子供たちです。大人の皆さまも童心に返ってお聞きください。

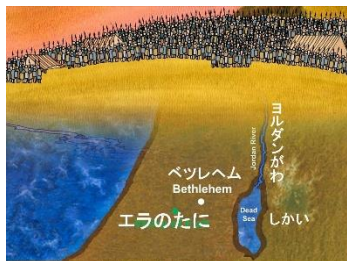
一、ゴリヤテ

この人はだれでしょう。そうです。ゴリヤテです。名前からして、こわそうですね。身長が2メートル86センチありました。この数字はかなり正確であると思われる。なぜなら、ゴリヤテはダビデに倒されて死に、ペリシテ人たちが逃げてしまったからです。横たわっていたゴリヤテを、イスラエルの人が見つけたのでしよう。6キュビト半あったと書かれています。6キュビト半は2メートル86センチになります。きょうは、ゴリヤテとダビデさんの話です。



二、「エラの谷」

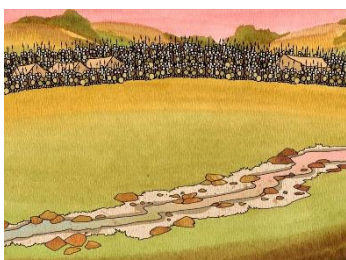
今から3000年以上も前のことです。ここは、イスラエルの



「エラの谷」という場所です。東に向かって歩いて行き、山を越えるとベツレヘムがありました。ベツレヘムは、神の子イエスさまがお生まれになった場所です。ですがこの時、まだイエスさまは生まれていませんでした。イエスさまが生まれる1000年以上も前の話だからです。その時、イスラエルの王様はサウル王でした。

三、ペリシテ人

さて、その昔からイスラエルのことが大嫌いな人々がいました。その人々の名前はペリシテ人でした。ペリシテ人たちは、イスラエルよりも文明が進んでいました。どんなふうに進んでいたのでしょうか。鉄を使ってヤリを造り、クワを造ることができました。ところが、イスラエルはその時代、自分たちで鉄を使うことができませんでした。また、ペリシテ人たちは、戦いも強かったです。軍隊があつて、子供の時から戦う訓練を受けていました。そういうペリシテ人が、大勢集まって、イスラエルに近づいて来ました。向こうに見えるのはペリシテ人たちです。みんな強い人ばかりです。



四、大男ゴリヤテ

すると、一人の大男がペリシテ人の陣営から出てきました。名をゴリヤテといいました。とにかく大きい！身長が2メートル86センチありました。



大きいだけではありません。子供の時から戦いの訓練を受けてきた戦士でした。頭には青銅のかぶとをかぶり、胸にはうろことじのよろいを着けていました。足には青銅のすね当てを付け、背中には青銅のヤリを持っていました。

五、ゴリヤテの脅し

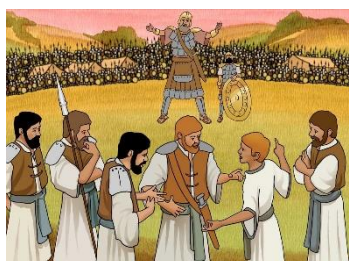
ゴリヤテは大声で叫びました。「おれはペリシテ人だ。お前らはサウル王の奴隷ではないか。一人だけ出てこい。おれと勝負しろ。おれと戦っておれを殺せるなら、おれたちはおまえらの奴隷になる。だが、おれが勝つてそいつを殺したら、おまえらがおれたちの奴隷になって、おれたちに仕えるのだー！」と。サウル王とイスラエルの人々は、ゴ



リヤテが語る言葉を聞いて、とても恐くなりました。「困った。どうしようか。しかしどうすることもできない。困った」と。ペリシテ人の大男ゴリヤテは、40日間、朝と夕方に出てきては大声で叫び、毎日同じことを語りました。

六、ダビデ

ある日のこと、少年ダビデが父親から言われて、「エラの谷」にいるお兄さんたちに食料を届けに行きました。実は、ダビデのお兄さんたちも、「エラの谷」で、サウル王に仕えて戦っていました。ダビデが「エラの谷」に到着したその時のことです。ゴリヤテが出てきて、いつものように大声で叫び、イスラエルをののしりました。「おれはペリシテ人だ。一人だけ出て来て、おれと勝負しろ。おれを殺せるなら、おまえらの奴隷になる。だが、おれが勝ったら、おれたちの奴隷になるのだー！」と。



七、ダビデの怒り

ダビデは言いました。「このペリシテ人は何なのです



か。生ける神のしもべたちを悪く言うとは」と。

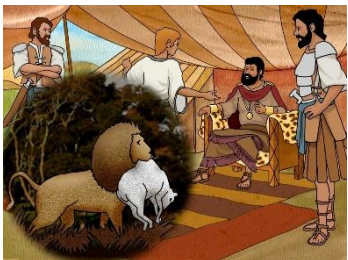
八、ダビデの決意



ダビデが語った言葉は、サウル王の耳に入りました。サウル王はダビデを呼び寄せました。ダビデはサウル王に言いました。「このしもべが行って、あのペリシテ人と戦います」と。サウル王はダビデに言いました。「おまえは、あのペリシテ人と戦うことはできない。おまえはまだ若いし、あれは若いときから戦士だったから」。

九、ダビデの確信

ダビデは言いました。「しもべは、父のために羊の群れを飼ってきました。獅子や熊が来て、群れの羊を取って行くとき、しもべはその後を追って出て、それを打ち殺し、その口から羊を救い出します。このペリシテ人も、これらの獣の一匹のようになるで



しょう。生ける神の陣をそしつたのですから」。

十、ゴリヤテとダビデ



ダビデは、川から五つのなめらかな石を選んで袋に入れ、石投げを持ってゴリヤテに近づいて行きました。ゴリヤテは笑いながら言いました。「はてさて、おれは犬か。杖を持って向かってくるとは」。そしてゴリヤテは、自分たちの神々の名によってダビデを呪いました。

十一、ダビデのことは

ダビデはゴリヤテに言いました。「おまえは、剣と槍と投げ槍を持って向かって来るが、私はおまえがそしつたイスラエルの神、主の名によって、立ち向かう。この戦いは主の戦いだ。主は、おまえたちをわれわれの手に渡される」と。



十二、ゴリヤテに当たった

そのときゴリヤテは、ダビデに近づいて来ました。ダビデは石投げで石を放ちました。すると石はゴリヤテのおでこに当たり、おでこに食い込んでしまいました。



十三、ゴリヤテを倒した



ゴリヤテはうつ伏せに倒れました。ペリシテ人たちは、自分たちの勇士が負けたのを見て、逃げました。小さなダビデは大男ゴリヤテを倒しました。

この時、ダビデの身長はどのくらいでしたでしょうか。少年でしたから1メートル65センチぐらいだとすると、ゴリヤテの半分程度です。一方のゴリヤテは2メートル86センチの大男です。しかも子供の時からの鍛えられた戦士に、1メートル65センチのダビデが、どうやって立ち向かうことができるでしょうか。できません。だから、聖書には書いてありませんが、ダビデは祈ったの

だと思えます。神はダビデの祈りを聞かれ、石投げの石がゴリヤテの額に命中しました。良かったですね。もし石が当たらなかつたなら、ダビデが殺されていきました。そして、イスラエルの人々はペリシテ人の奴隷になっていたかもしれせん。

神さまは、神さまを信じる者を守ってくださいます。神さまは、イエス・キリストを信じる皆さんを、私たちを守ってくださいます。

※視覚教材は、

<https://freebibleimages.org/>

よりダウンロードしました。